

研究会報告書案の骨格

資料 1

I はじめに

(※研究会報告書のタイトルについても御議論いただきたい)

II 現状認識と課題設定

○社会の変化

- ・ 少子高齢化の進行と従来の安心のシステムの変容
- ・ 地域社会の変化

○地域における多様な福祉課題

- ・ 公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題
- ・ 公的な福祉サービスによる総合的な対応が不十分であることから生じる問題
- ・ 社会的排除の対象となりやすい者や少数者、低所得者の問題
- ・ 「地域移行」という要請

○地域の課題

- ・ 安心、安全の確立
- ・ 次世代を育む場としての地域

○住民の自己実現意欲の高まり

- ・ 住民の自己実現意欲の高まりと地域参加

○地域福祉の課題

○福祉・医療政策の施策の動向

- ・ 近年の福祉制度改革
(高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、在宅医療の推進)
- ・ 近年の福祉施策の方向性
 - ① 利用者本位の仕組み
 - ② 市町村中心の仕組み
 - ③ 在宅福祉の充実
 - ④ サービス供給体制の多様化

III 地域福祉の意義と役割

○地域における新たな支え合い(共助)を確立する

○地域で求められる支え合いの姿

○地域の生活課題に対応する

○住民が主体となり参加する場

○ネットワークで受けとめる

コミュニティ再生の軸としての福祉

IV 地域福祉を推進するために必要な条件

○住民主体を確保する条件があること

○地域の生活課題発見のための方策があること

○適切な圏域を単位としていること

○地域福祉を実施するための環境について

- ・ 活動の拠点
- ・ コーディネーター
- ・ 活動資金

○担い手について

市町村の役割

VI 既存施策の見直しについて

○見直しの対象

○検証と見直しの観点

○個別の既存施策の検証、見直し

- ・ 地域福祉計画
- ・ 民生委員・児童委員
- ・ ボランティア活動
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 福祉サービス利用援助事業
- ・ 生活福祉資金貸付制度
- ・ 共同募金

V 留意すべき事項

- ・ 多様性を認め、画一化しない
- ・ 地域がもっている負の側面
- ・ 個人情報の取扱い